

# SAMSUNG

# セミアウトドア設置ガイド

---

OMN(OM46N OM55N)

OMN-D(OM46N-D OM55N-D)

このガイドの内容に準拠して製品を設置してください。

このガイドに従わないために発生した問題については、製品保証はありません。

製品によって色や形状が異なる場合があります、設置ガイドの内容は性能改善のため予告なく変更されることがあります。

# 目次

## OM46N / OM55N

<b>01</b>	<b>製品設置前の確認</b>	
	設置時の注意事項	3
	回転および傾斜角度の	3
	設置時の離隔距離	4
	気流方向	5
<b>02</b>	<b>筐体設計案内</b>	
	吸気口/排出口形	5
	換気口設計	6
	換気口間仕切り設計	6

## OM46N-D / OM55N-D 01

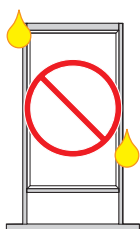
	<b>製品設置前の確認</b>	
	設置時の注意事項	9
	回転および傾斜角度の設	9
	置時の離隔距離	10
	気流方向	10
<b>02</b>	<b>ブラケット形態別取付ガイド</b>	
	ブラケットを取付け前に必要な作業	11
	ブラケット別取付形態	13
	ブラケット別取付方法	17
<b>03</b>	<b>筐体設計案内</b>	
	吸気口/排出口形	18
	換気口設計	18

# 01 製品設置前確認

## 設置時の注意事項



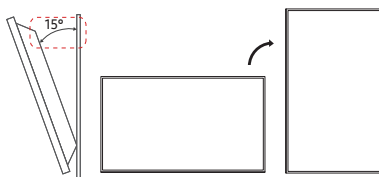
- セミアウトドア製品は室外条件では使用できません。したがって、別途の防水およびクリーニング装置を設計して使用しても、室外条件で使用時に製品の温度上昇で製品故障の原因になることができ、このような故障は製品保証になりません。



- オイルが発生する機械の近くには設置をしないでください。油蒸気によりファンが故障する可能性があります。

## 回転および傾斜角度

－ 詳細については、サムスン電子サービスセンターにお問い合わせください。



- 製品の傾斜角度は垂直壁面から最大15°まで可能で、水平または垂直モードで使用できます。

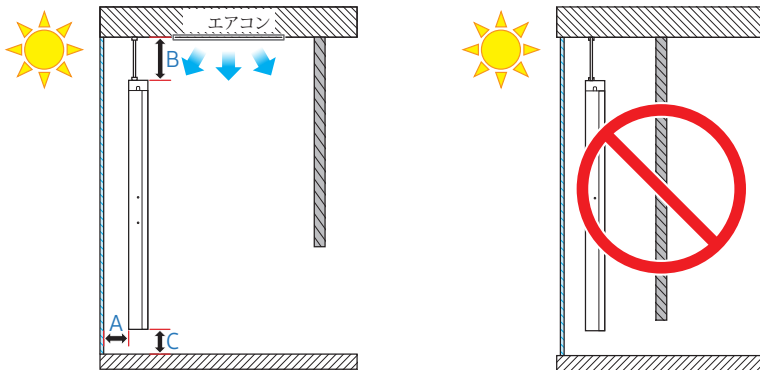
## 設置時の離隔距離

### 窓際設置時の離隔距離

セミアウトドア製品を窓辺に設置するときは、空気の流れを円滑にするために離間距離を守ってください。

- 窓との離間距離 (A) : 100 mm以上
- 天井との離隔距離 (B) : 300 mm以上
- 床との離隔距離 (C) : 100 mm以上
- 周囲温度は0～30℃に保ち、周囲に障害物がない必要がございます。

- 不適合の場合、製品の温度上昇により製品の故障の原因となる可能性があり、これらの故障は製品保証にはなりません。
- 筐体使用時に製品の温度が上昇することがあるので、必ずサムスン電子に連絡してガイドを受けてください。



### 壁面設置時の離隔距離

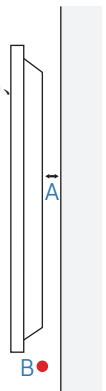
- 詳細については、サムスン電子サービスセンターにお問い合わせください。

#### 垂直壁掛け設置条件

A 最小60 mm

B 周囲温度測定点30℃以下

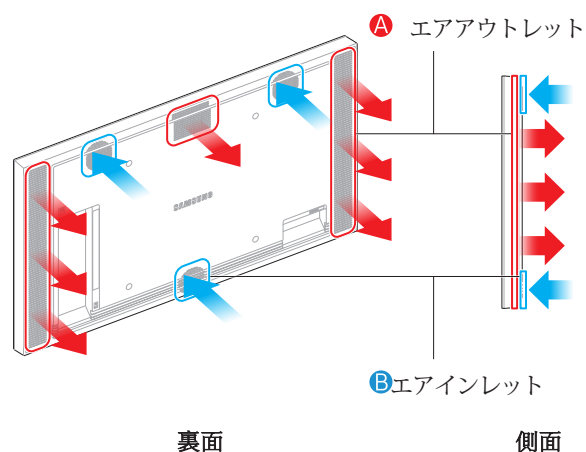
- 垂直壁面に設置する場合は、通気性が良くなるように図のように壁面から60mm以上の距離を保ち、周囲温度が30℃を超えないようにしてください。



## 気流方向

セミアウトドア製品には、冷却ファンが装備されており、外気を吸気口に吸い込み、製品内部温度を下げて、熱風を空気出口に排出します。

－ セミアウトドア製品を設置するときは、吸気口と排気口に空気の流れを妨げる障害物を取り除く必要があります。

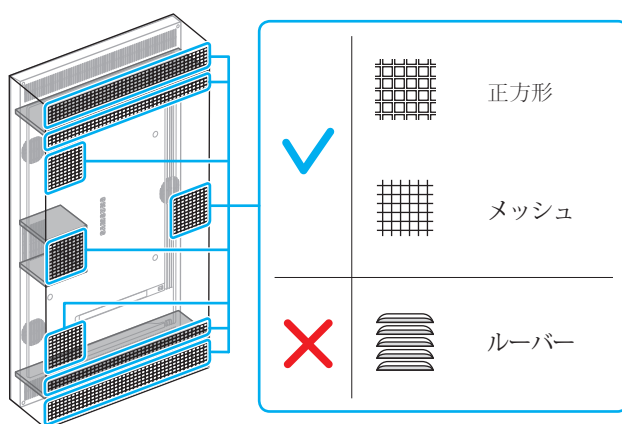


## 02 筐体設計案内

### 空気取入口/排出口モード

吸気口と出口は正方形またはメッシュの形で設計してください。

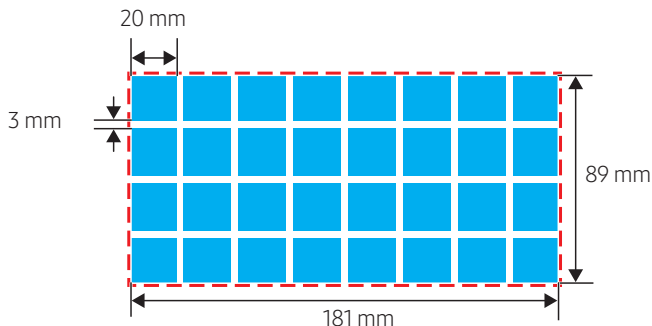
－ ルーバー形状は実際に流入する空気の面積が小さいので、設計時に使用しないでください。



## 換気口の設計

セミアウトドア製品を筐体と組み合わせるときは、ガイドに従って設計してください。

- ガイドに従わないと、冷却システムが正常に動作しないため、製品の故障の原因となる可能性があり、これらの故障は製品の保証にはなりません。
- 開口率は少なくとも50%以上に設計してください。
- 開口面積および開口率の計算方法



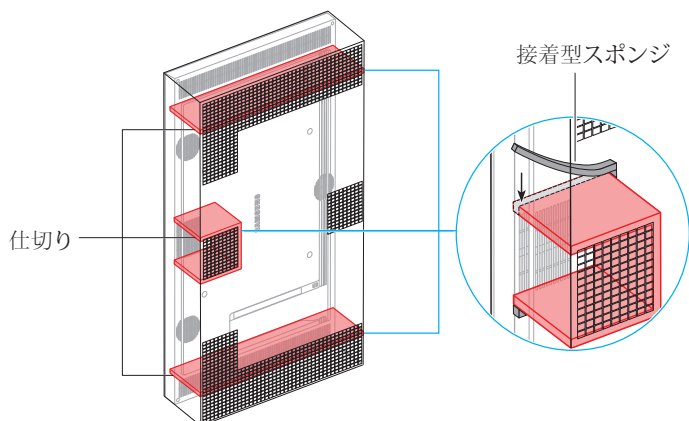
総換気口面積:  $181 \times 89 = 16,109 \text{ mm}^2$

開口面積:  $20 \times 20 \times 32 = 12,800 \text{ mm}^2$

$$\text{開口率} = \frac{\text{開口面積}}{\text{総換気口面積}} = \frac{12,800 \text{ mm}^2}{16,109 \text{ mm}^2} \times 100 = 79 \%$$

## 換気口間仕切り設計

- セミアウトドア製品は、空気が混入しないように空気の入口と出口の間に仕切りを設計してください。
- セミアウトドア製品と筐体の間に隙間がないように仕切りを設計します。必然的に隙間が発生するときは、接着型スポンジを貼り付けて隙間がないように設計してください。



## 単一艦体

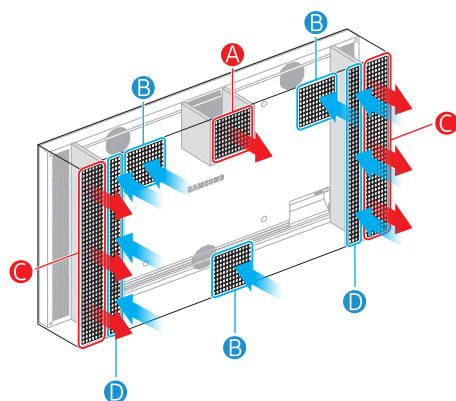
艦体使用時、セミアウトドア製品の空気出口に排出される熱風が吸気口に再流入しないように、以下の内容を守って設計してください。

- 筐体の吸気口と出口の位置は、セミアウトドア製品の吸気口と出口の位置に合うように設計してください。
- 製品と筐体の間のスペースは少なくとも60 mm以上確保してください。
- 開口面積

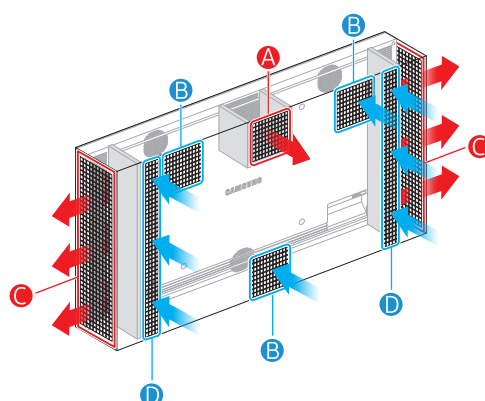
		OM46N	OM55N
空気排出口	A x 1	各 14,560 mm <sup>2</sup> 以上	各 14,560 mm <sup>2</sup> 以上
	C x 2	各 32,172 mm <sup>2</sup> 以上	各 42,840 mm <sup>2</sup> 以上
空気吸入口	B x 3	各 13,650 mm <sup>2</sup> 以上	各 13,650 mm <sup>2</sup> 以上
	D x 2	各 40,180 mm <sup>2</sup> 以上	各 57,120 mm <sup>2</sup> 以上

－ 最小開口率（％）：50％以上

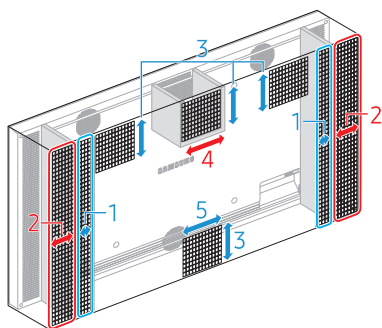
例1



例2



- 吸気口/排出口の設計時に提示された最小距離以上に設計してください。

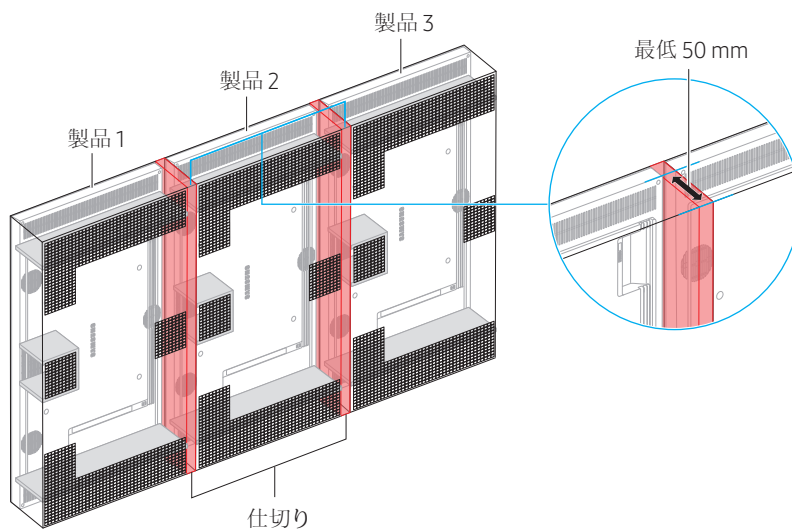


	OM46N	OM55N
1	最低 100 mm	最低 120 mm
2	最低 80 mm	最低 90 mm
3	最低 130 mm	
4	最低 160 mm	
5	最低 150 mm	

## 1xN 断面設計

1xN 断面形状の筐体进行設計するときは、製品と製品の間に空気が混ざらないように別々の仕切りを設計してください。

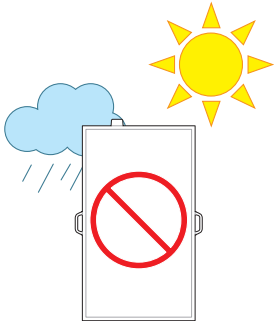
- 「通気孔の設計」を参考に設計してください。（6ページ）
- 「筐体と仕切りの間に隙間が生じないように設計してください。」
- N x M断面型筐体設計をするときは、サムスン電子に連絡してガイドを受けてください。





# 01 製品設置前の確認

## 設置時の注意事項



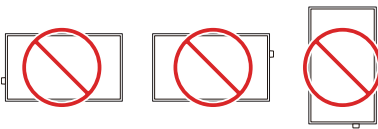
- セミアウトドア製品は屋外条件では使用できません。
- そのため、別途の防水・クーリング装置を設計して使用しても、屋外条件下での使用時の製品の温度上昇により製品の故障の原因となることがあり、このような故障は製品保証にはなりません。



- オイルが発生する機械の近くに設置しないでください。油蒸気によってファンが故障することがあります。

## 回転および傾斜角度

－ 詳細については、サムスン電子サービスセンターにお問い合わせください。



- このモデルは横型では使用できません。
- \*正しい設置方向で設置してください。

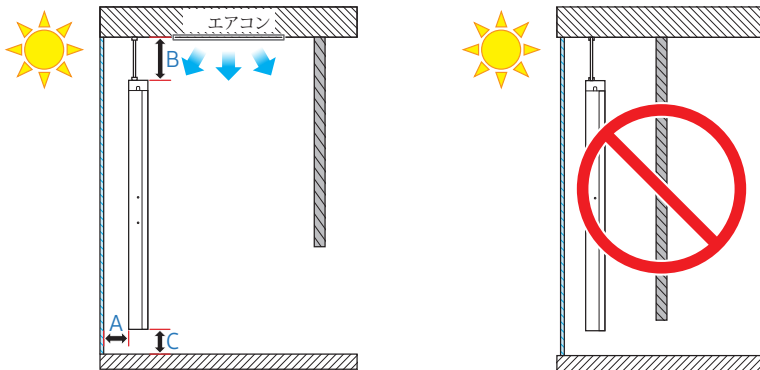
## 設置時の離隔距離

### 窓際設置時の離隔距離

セミアウトドア製品を窓辺に設置するときは、空気の流れを円滑にするために離間距離を守ってください。

- 窓からの離隔距離(A): 100 mm 以上
- 天井との離隔距離(B): 300 mm 以上
- 床からの離隔距離(C): 100 mm 以上
- 周囲温度は0～30℃に維持する必要がある、周囲に障害物がないこと。

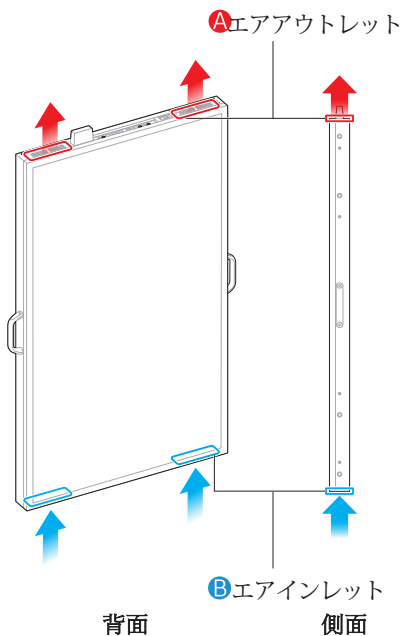
- 不適合の場合、製品の温度上昇により製品の故障の原因となる可能性があり、これらの故障は製品保証にはなりません。
- 筐体使用時に製品の温度が上昇することがあるので、必ずサムスン電子に連絡してガイドを受けてください。



## 気流方向

セミアウトドア製品には、冷却ファンが装備されており、外気を吸気口に吸い込み、製品内部温度を下げて、熱風を空気出口に排出します。

- セミアウトドア製品を設置するときは、吸気口と排気口に空気の流れを妨げる障害物を取り除く必要があります。

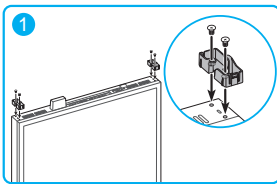


## 02 ブラケット形態別取付ガイド

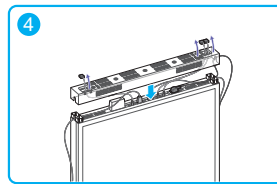
### ブラケットを取り付ける前に必要な作業

- インストール前に以下の作業を進めてください。

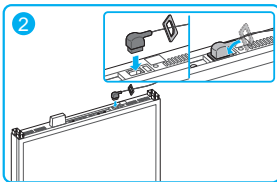
#### トップカバーの取り付け



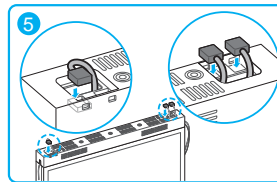
HOLDER-GUIDE x 2  
を装着してください。



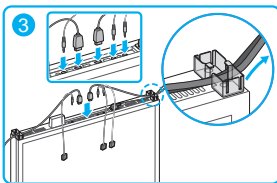
上部カバーを取り付けます。



電源ケーブルにラ  
バーを差し込み、  
電源ケーブルを接  
続します。

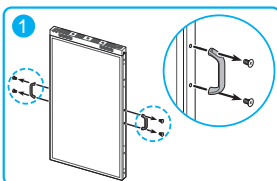


外部IRケーブルと外部  
照度センサーの受信部  
を指定の位置に固定し  
ます。

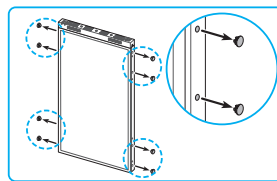


外部IRケーブ  
ル、HDMIケーブ  
ルなどのケーブルを接続  
し、図のようにケー  
ブルを整理してくだ  
さい。

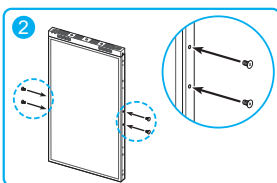
#### ハンドルを取り外す



製品の両側の  
ハンドルを取り外します。



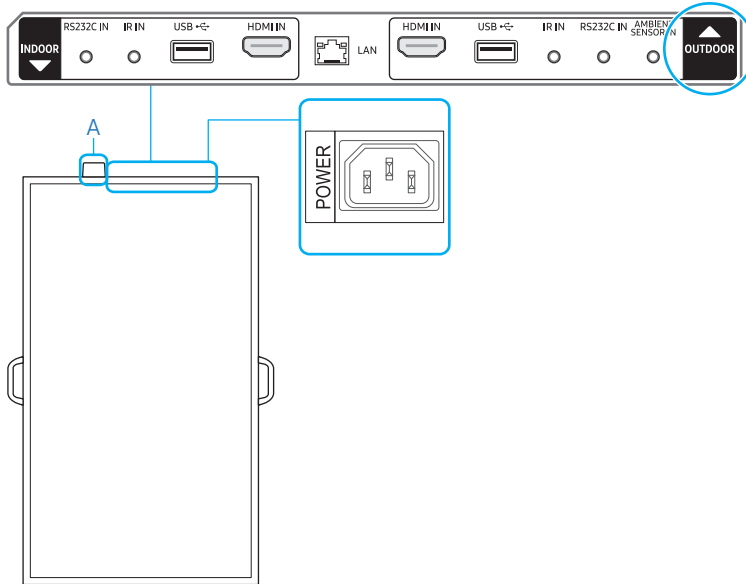
ー 天井やスタンドを取り付ける  
ときは、表示されている場所の  
ネジストッパーを外してください。



ハンドルを外した穴に  
ねじを締めます。

## ディスプレイの設置方向を確認する

- OUTDOOR 表記方向を窓方向に設置してください。



- INDOORディスプレイをオフにした状態でOUTDOORディスプレイのみを使用すると、有線ネットワークが接続されないことがあります。INDOORディスプレイをオンにしたり、INDOORディスプレイでネットワークスタンバイモードをオンにした後に使用してください。

- Wifi-Module突起 (A) を介して表示方向を知ることができます。(INDOOR方向：左、OUTDOOR方向：右)

## ディスプレイ固有のIDを設定する

OMN-Dモデルは、前面と背面のリモコン受信部が分離されています。

リモコンの操作位置や周囲の環境に応じて前面/背面ディスプレイが同時に動作する場合は、以下のようにID (INDOOR : 1、OUTDOOR : 2) を付与して、希望のディスプレイのみ動作するように設定できます。

ー 設定後もう一方のディスプレイのみがリモコン動作するように設定するには、INDOORとOUTDOORディスプレイにすでに設定されているIDをリモコンのUNSETボタンを押して解除します。

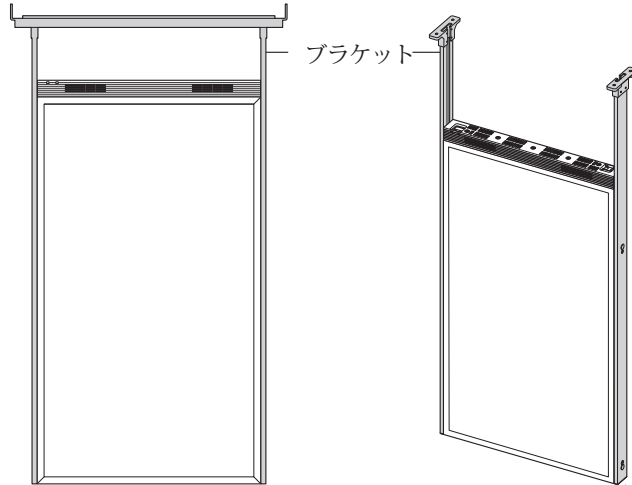
- INDOOR側のディスプレイのみ動作するように設定する
  - 1) INDOOR用IR受信部に向けてリモコンの **SET → 1 → [ ]** を押してください。
  - 2) OUTDOOR 用IR受信部に向けてリモコンの **SET → 1 → [ ]** を押してください。
- OUTDOOR サイドディスプレイのみ動作するように設定する
  - 1) INDOOR 用IR受信部に向けてリモコンの **SET → 2 → [ ]** を押してください。
  - 2) OUTDOOR 用IR受信部に向けてリモコンの **SET → 2 → [ ]** を押してください。

## ブラケット別取付形態

- － 以下の形で設置可能です。
- － 天井ブラケット仕様/スタンドブラケット仕様を参照して製造してください。不適合の場合は、ブラケットと製品が組み立てられていないか、ケーブルを整理できないことがあります。
- － スタンドとボルトは提供していません。

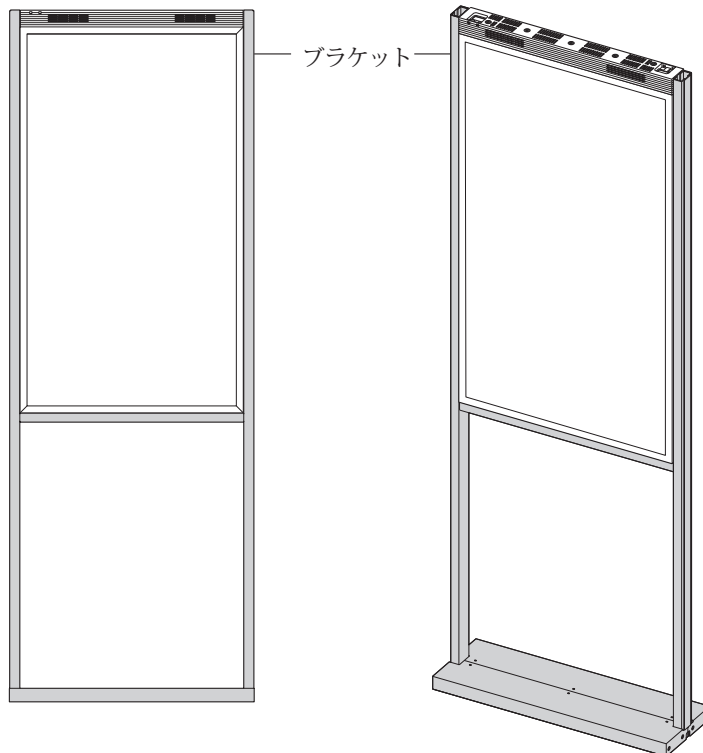
### 例1) 天井型

製品が落ちないように天井とブラケットをしっかりと固定してください。

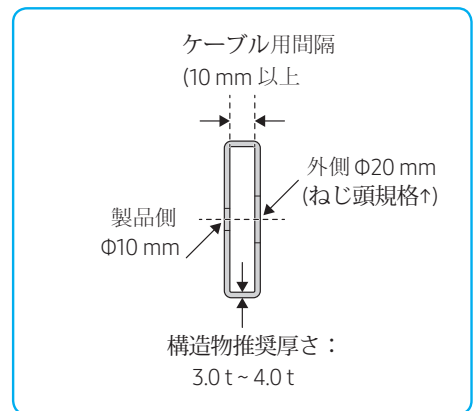
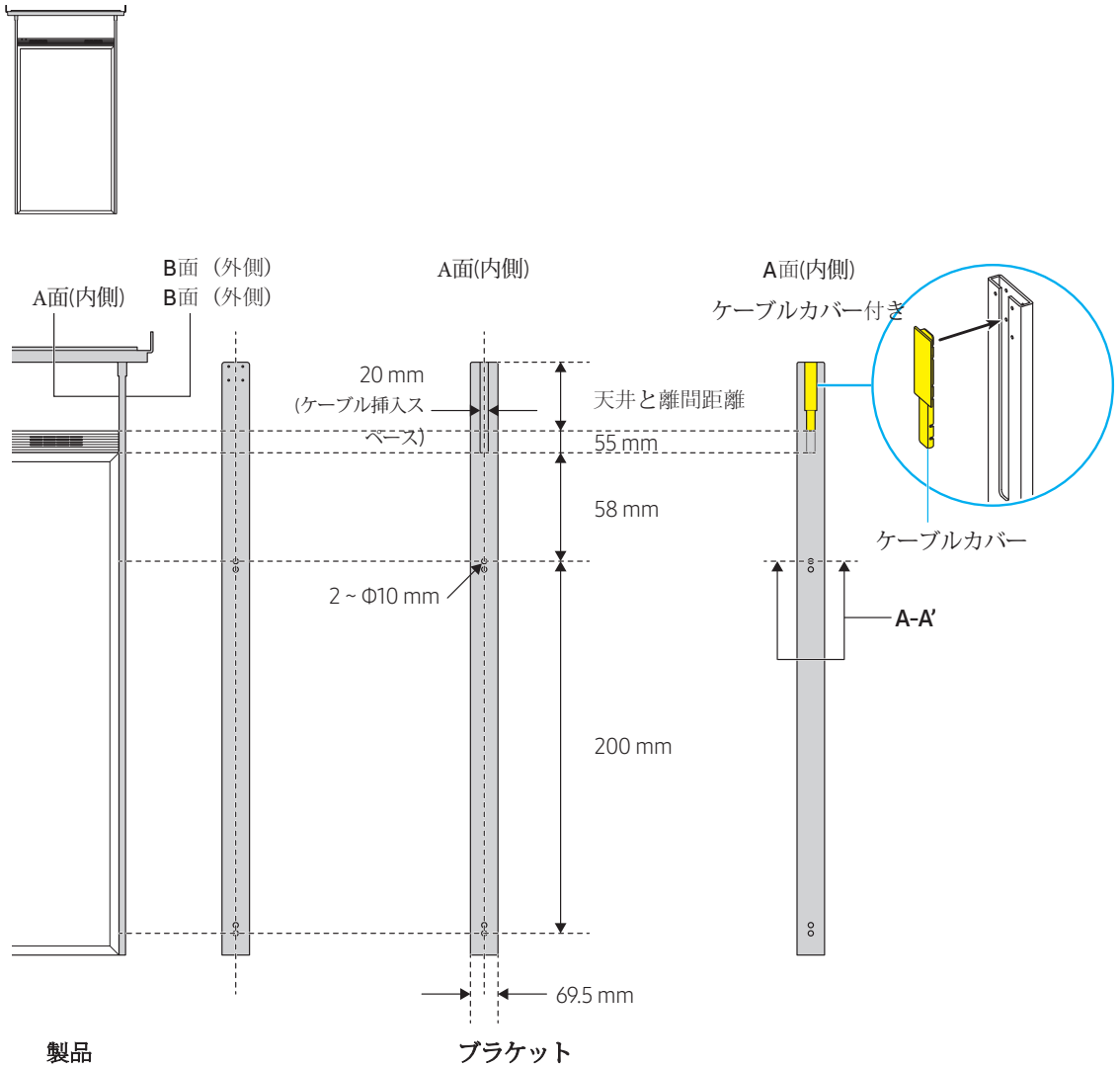


### 例2) スタンドタイプ

製品が転倒しないように、ブラケットと床をしっかりと固定してください。

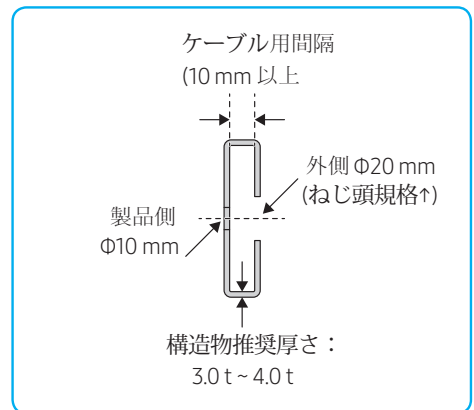
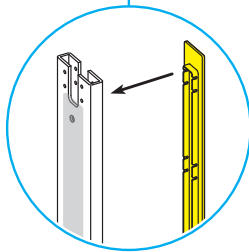
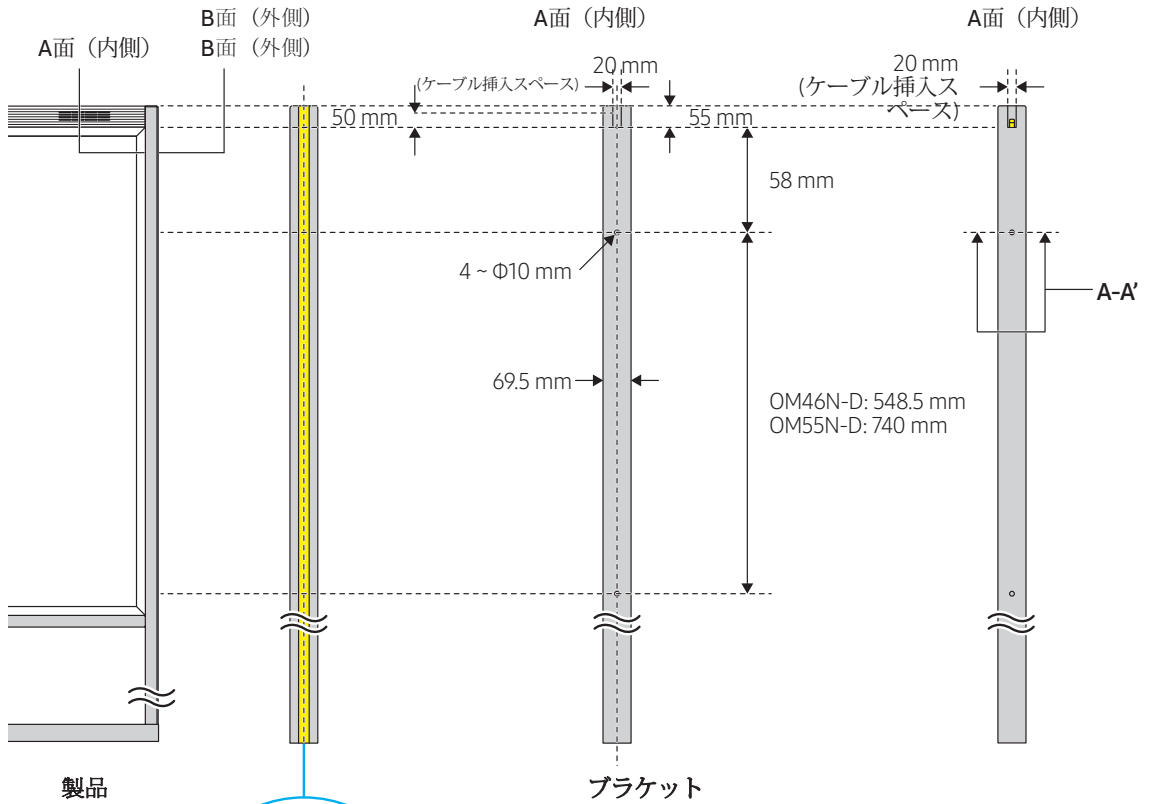
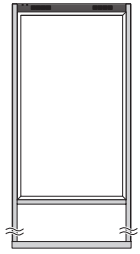


## 天井型ブラケット仕様



### A-A' 断面

スタンド形ブラケット仕様

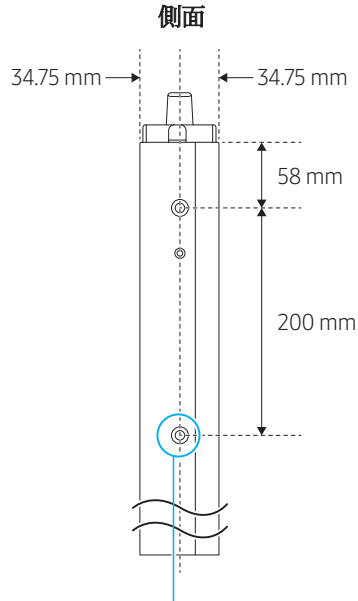


A-A' 断面

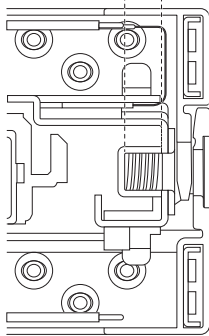
## ブラケット取付用ねじ仕様

- ブラケットの材質と厚さを考慮して、適切なネジを使用してください。

素材厚み	ねじ	締付量(A)
2.0 t	M8 x L18	5.9 mm
2.5 t ~ 4.0 t	M8 x L20	5.5 ~ 7.0 mm

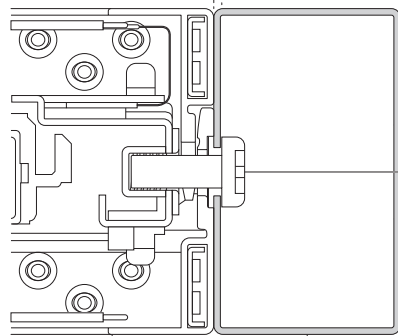


締付量(A): 7.0 mm  
10.5 mm (貫通穴)



製品内部組立構造

厚み



製品

ブラケット

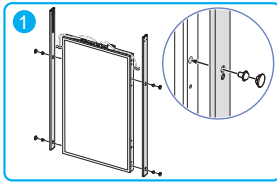
ブラケット素材の厚さ



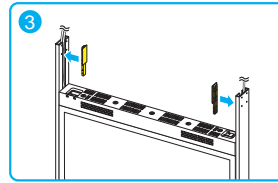
## ブラケット別取付方法

### 天井型の取り付け方法

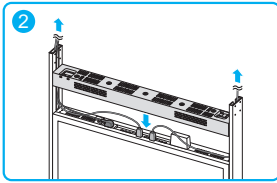
- 製品固定用ブラケットは、別途ガイドに従って直接製作する必要があります。



ディスプレイの取り付け方向（INDOOR / OUTDOOR）を確認し、方向に合わせて製品の左右に天井ブラケットを組み立てます。



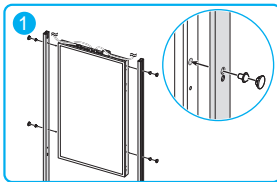
天井ブラケットのカバー（黄色い部分）を閉じて、ケーブルが見えないようにしてください。



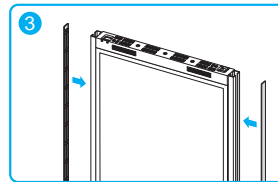
ケーブルを天井ブラケットに差し込みます。

### スタンド型取付方法

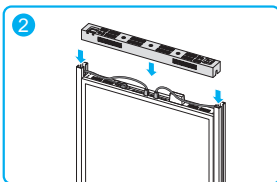
- 製品固定用ブラケットは、別途ガイドに従って直接製作する必要があります。



ディスプレイの取り付け方向（INDOOR / OUTDOOR）を確認し、方向に合わせて製品の左右にスタンドブラケットを組み立てます。



スタンドブラケットのカバーを閉じて、ケーブルが見えないようにしてください。



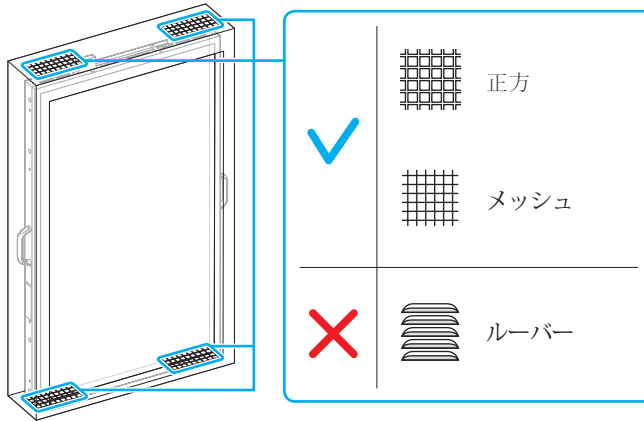
ケーブルをスタンドブラケットに差し込みます。

## 03 筐体設計案内

### 空気取入口/排出口モード

吸気口と出口は正方形またはメッシュの形で設計してください。

- ルーバー形状は実際に流入する空気の面積が小さいので、設計時に使用しないでください。



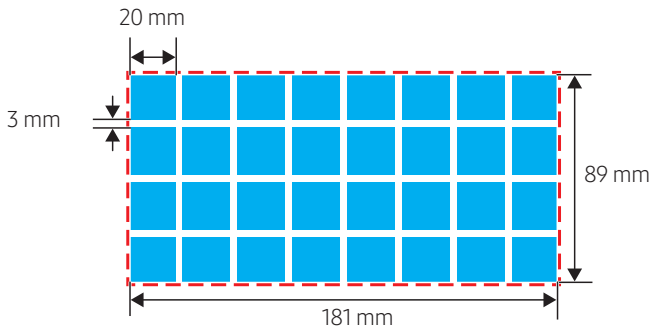
### 換気口的设计

セミアウトドア製品を艦体と組み合わせるときは、ガイドに従って設計してください。

- ガイドに従わないと、冷却システムが正常に動作しないため、製品の故障の原因となる可能性があり、これらの故障は製品の保証にはなりません。

- 開口率は少なくとも50%以上に設計してください。

- 開口面積と開口率の計算方法



総換気口面積:  $181 \times 89 = 16,109 \text{ mm}^2$

開口面積:  $20 \times 20 \times 32 = 12,800 \text{ mm}^2$

$$\text{開口率} = \frac{\text{開口面積}}{\text{総換気口面積}} = \frac{12,800 \text{ mm}^2}{16,109 \text{ mm}^2} \times 100 = 79 \%$$

## 単一艦体

艦体使用時、セミアウトドア製品の空気出口に排出される熱風が吸気口に再流入しないように、以下の内容を守って設計してください。

- エアインレット (B)
- 開口面積: 67,000 mm<sup>2</sup> 以上
- 最小開口率(%): 50 % 以上
- 空気排出口 (A)
- 開口面積: 67,000 mm<sup>2</sup> 以上
- 最小開口率(%): 50 % 以上

- 艦体の吸気口と出口の位置は、セミアウトドア製品の吸気口と出口の位置に合うように設計してください。

- 艦体の前後面はガラスなしで開いている必要があります。
- 円滑な空気の流入のために、製品や容器の上下の通気口をふさがないでください。

